

感染状況・医療提供体制の分析(6月1日時点)

【岡山県専門家有志】

(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計	前回の数値 (5月25日時点)	現在の数値 (6月1日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数 (人口10万人当たり)	総数	4092人 (218人)	2730人 (145.4人)	→	<p>感染状況コメント レベル4. 感染縮小の兆候があるが特別な警戒が必要</p> <p>新規陽性者は<u>人口10万人当たり145人</u>と減少。年代別にみると、10歳未満の割合の増加は継続、また60歳以上の割合も増加。医療機関等でのクラスターは散発的に発生。 陽性者の総数は減少傾向であるが、小児や高齢者の陽性者数は高止まりしており、今後も高齢者や基礎疾患のある方への感染を防ぐ対策の継続を。熱中症予防のため、屋外ではマスクは外すなど、メリハリのある感染対策が必要となる。</p>
		60歳以上 (総数に占める割合)	385人 (9%)	287人 (11%)	→	
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	1897人	1288人	→	
		県南西部	1685人	1077人	→	
		高梁・新見	48人	18人	→	
		真庭	52人	18人	→	
	市中潜在・ 感染	③新規陽性者 における 接触歴不明者	数	1326人 (調査中を除く)	882人 (調査中を除く)	
割合 (③/①)			40.6% (調査中を除く)	39.2% (調査中を除く)	→	
医療提供体制	④入院患者数 (確保病床における入院割合)	95人 (17%)	100人 (18%)	→	<p>医療提供体制コメント レベル1. 通常の体制で対応可能と思われる</p>	
	⑤宿泊療養者数	107人	72人	→	<p>入院患者数は不変も、感染者数減少に伴い、宿泊・自宅療養者数は減少。通常医療が提供可能な体制が維持できている。</p>	
	⑥自宅療養者数	4362人	3113人	→		
	⑦重症者数	1人	2人	→		